

人類生態学教室年報 —2023・2024年—
Biannual Report of the Department of Human Ecology —2023/2024—

2025年6月
東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻人類生態学教室
Department of Human Ecology, School of International Health,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 教育活動（2023 年度・2024 年度）..... | 2 |
| 学部講義 | 2 |
| 学部実習 | 7 |
| 特別講義（東京大学-プリンストン大学共同研究・教育プロジェクト）..... | 10 |
| 卒業論文 | 10 |
| 修士論文 | 10 |
| 博士論文 | 11 |
| 研究業績（2023 年・2024 年） | 13 |
| 原著論文 | 13 |
| 単行本 | 15 |
| 総説・資料・他..... | 16 |
| 学会発表 | 16 |
| 受賞 | 19 |
| 競争的資金の獲得..... | 19 |
| 教室員一覧（2023 年度・2024 年度）..... | 21 |



人類生態学教室ウェブサイト
<http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/>

教育活動（2023年度・2024年度）

UTAS 掲載のシラバスから変更があった場合は、実際の講義日および担当者を年報に記載した。

学部講義

国際保健学（2年生・必修）

【2023年度】

- 10月16日 人類集団の遺伝的多様性（藤本明洋）
- 10月23日 Planetary Health の考え方（梅崎昌裕）
- 10月30日 国際移民の生活と健康：ライフスタイル、構造的差別、保健医療アクセス（柴沼晃）
- 11月6日 新興・再興感染症感染症の対策のための国際的協力（Moi Meng Ling）※オンライン授業
- 11月13日 世界の疾病負荷 - エビデンスを創出し、政策を導く（野村周平）
- 11月20日 総合診療・家庭医療・プライマリケア（大西弘高）
- 11月27日 感染症と化学療法：寄生虫と抗寄生虫薬（渡邊洋一）

【2024年度】

- 10月7日 Global Health Landscape Evidence from the Global Burden of Disease Study (GBD)（野村周平）
- 10月21日 構造的差別、スティグマ、マイクロアグレッション（柴沼晃）
- 10月28日 世界的に流行を引き起こすウイルス感染症とは（Moi Meng Ling）
- 11月11日 家庭医療・総合診療とプライマリケア（大西弘高）
- 11月13日 Planetary Health（梅崎昌裕）
- 11月18日 ヒトの遺伝的多様性（藤本明洋）
- 11月20日 Targeting Protozoan Parasites: Innovations in Drug Development and Understanding Pathogenic Mechanisms（Herbert J. Santos）

生理学（2年生・必修）

【2023年度】

- 担当: 大木紫
- 10月6日 生理学の基礎、血液、呼吸
- 10月13日 循環、腎臓の機能

- 10月20日 消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
- 10月27日 内分泌、生殖、神経とシナプス
- 11月10日 筋収縮、神経系、感覚
- 11月17日 実習（心電図、脳波等）（杏林大学）
- 11月21日 試験

【2024年度】 担当: 大木紫

- 10月4日 生理学の基礎、血液、呼吸
- 10月11日 循環、腎臓の機能
- 10月18日 消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
- 10月25日 内分泌、生殖、神経とシナプス
- 11月1日 筋収縮、神経系、感覚
- 11月8日 試験
- 11月15日 実習（心電図、脳波、視野）

環境と健康（2年生・必修）

【2023年度】

- 11月30日 環境保健学の基礎/
エコロジカルフットプリントを計算しよう(1) (小西祥子)
- 12月7日 水と健康/未来の水道のあり方を考える (片山浩之)
- 12月14日 ヘルスリテラシーとは/
リスクコミュニケーションの実践 (後藤あや)
- 12月21日 生態系サービスと健康/
生態系における窒素循環のシミュレーション (大久保悟)
- 1月4日 環境問題に対する国際的な取り組み/
エコロジカルフットプリントを計算しよう(2) (小西祥子)
- 1月11日 環境問題に対する国内における取り組み/
化学物質の複合曝露による健康影響の評価 (中島大介)
- 1月25日 まとめと試験

【2024年度】

- 11月28日 環境保健学の基礎 (小西祥子)
- 12月5日 環境問題に対する国内における取り組み (中島大介)
- 12月12日 水と健康 (片山浩之)
- 12月19日 生態系サービスと健康 (大久保悟)
- 12月26日 ヘルスリテラシーとリスクコミュニケーション(後藤あや)
- 1月9日 環境問題に対する国際的な取り組み (小西祥子)

1月23日 まとめと試験

薬理学・毒性学 (2年生・必修)

【2023年度】

- 12月5日 薬はなぜ効くのか 薬理学入門 (高田龍平)
- 12月12日 毒とは何か? どこまで安全か? 毒性学入門 (水野佑紀)
- 12月14日 薬害、食中毒、環境汚染はなぜ起こるのか (水野佑紀)
- 12月26日 環境毒性と毒性機序 (本田匡人)
- 1月9日 自律神経および循環薬理学 (廣瀬謙造)/
中枢神経薬理学 (上田泰己・大出晃士)
- 1月16日 薬物動態学の基礎 (苅谷嘉顕)/ 薬物間相互作用 (高田龍平)
- 1月30日 医薬品の安全評価 (小出大介)/ 試験

【2024年度】

- 12月3日 薬はなぜ効くのか 薬理学入門 (高田龍平)
- 12月10日 毒性学入門1 (水野佑紀)
- 12月17日 毒性学入門2 (水野佑紀)
- 12月24日 環境毒性と毒性機序 (本田匡人)
- 1月7日 薬物動態学の基礎 (苅谷嘉顕)
薬物間相互作用 (高田龍平)
- 1月14日 自律神経および循環薬理学 (廣瀬謙造)
医薬品の安全評価 (小出大介)
- 1月28日 中枢神経薬理学 (大出晃士)/ 試験

人類生態学 (3年生・必修)

【2023年度】

- 4月11日 人類生態学の考え方 (梅崎昌裕)
- 4月18日 人口からみた人間 (小西祥子)
- 4月25日 栄養と健康 (梅崎昌裕)
- 5月2日 行動の生態学 (梅崎昌裕) ※オンライン授業
- 5月9日 自然人類学の方法 総合研究博物館の見学 (米田穰)/
文化の伝達と進化 (井原泰雄)
- 5月16日 人類生態学の研究(1) (梅崎昌裕)/
人類生態学の研究(2) (小西祥子)
- 5月23日 講義のまとめ (梅崎昌裕)/ 試験

【2024 年度】

- 4 月 9 日 人類生態学の考え方 (梅崎昌裕)
4 月 16 日 栄養と健康 (梅崎昌裕)
4 月 23 日 行動の生態学 (梅崎昌裕)
4 月 30 日 自然人類学の方法 総合研究博物館の見学 (米田穰)
文化の伝達と進化 (井原泰雄)
5 月 14 日 人口からみた人間 (小西祥子)
5 月 21 日 人類生態学の研究(1):便は汚くない? (梅崎昌裕)
人類生態学の研究(2):なぜ結婚と出産は少なくなった? (小西祥子)
人類生態学の研究(3):環境を評価するおもしろさ (水野佑紀)
人類生態学の研究(4):地域に住み込むおもしろさ (木部未帆子)
5 月 28 日 講義のまとめ (梅崎昌裕)/ 試験

医療人類学 (3 年生・選択)

【2023 年度】

- 4 月 16 日 文化相対主義 (田所聖志・木部未帆子)
4 月 21 日 宗教・病因論 (田所聖志・梅崎昌裕)
4 月 28 日 異文化理解(ヤノマミ) (梅崎昌裕)
5 月 12 日 贈与・交換 (田所聖志・梅崎昌裕)
5 月 19 日 リスク論 (卯田宗平・梅崎昌裕)
6 月 2 日 尊厳 (梅崎昌裕)

【2024 年度】

- 4 月 19 日 オリエンテーション・身体観 (梅崎昌裕)
4 月 26 日 文化相対主義・フィールドワーク (田所聖志・梅崎昌裕)
5 月 10 日 贈与・交換 (梅崎昌裕)
5 月 15 日 異文化理解(ヤノマミ) (梅崎昌裕)
5 月 17 日 リスク論 (卯田宗平・梅崎昌裕)
5 月 24 日 宗教・病因論 (田所聖志・梅崎昌裕)
5 月 31 日 尊厳 (梅崎昌裕)

人口学 (3 年生・選択)

【2023 年度】

- 担当: 小西祥子
10 月 3 日 人口分析の目的と戦略、人口分析に使うデータ
10 月 10 日 人口構造の分析

- 10月17日 死亡の分析(1)
- 10月24日 死亡の分析(2)/ 小テスト1回目
- 10月31日 出生の分析
- 11月7日 結婚と離婚、人口推計/ 小テスト2回目
- 11月14日 まとめと試験

【2024年度】 担当: 小西祥子

- 10月8日 人口分析の目的と戦略、人口分析に使うデータ
- 10月15日 人口構造の分析、安定人口モデル
- 10月22日 死亡の分析と生命表
- 10月29日 生命表の応用
- 11月5日 出生の分析、自然出生力
- 11月12日 人口推計
- 11月19日 まとめと試験

環境人間工学 (4年生・選択)

【2023年度】

- 6月7日 IoTを用いたモバイル行動医学 (吉内一浩) ※オンライン授業
- 6月14日 心豊かな生活環境実現に向けた生体情報センシング
- カフレス血圧計測、ストレス計測 - (割澤伸一) ※オンライン授業
- 6月21日 サイバーフィジカルとロボティクス
- みまもり工学への一歩 - (森武俊・水野佑紀) ※オンライン授業
- 6月28日 メッセージャーRNAのワクチンと医薬品への応用 (内田智士) ※オンライン授業
- 7月5日 健康・ウェルビーイングのための都市緑地プランニング・デザイン (山崎嵩拓)
- 7月12日 情報による行動変容促進に向けた人の心理・行動推定 (荒川豊)
- 7月19日 環境人間工学まとめ (水野佑紀)

【2024年度】

- 6月5日 生体情報センシングと感覚フィードバックを組み合わせた生活環境 (割澤伸一) ※オンライン授業
- 6月12日 社会便益のための行動変容支援システムの実現に向けて (荒川豊)

- 6月19日 健康・ウェルビーイングのための都市緑地プランニング・デザイン (山崎嵩拓)
- 6月26日 ナノテクノロジーが切り拓く難治疾患治療 (持田祐希)
- 7月3日 サイバーフィジカルとロボティクス ～みまもり工学への一歩～ (森武俊) ※オンライン授業
- 7月10日 IoTを用いたモバイル行動医学 (吉内一浩) ※オンライン授業
- 7月17日 身体活動を促す都市計画・まちづくり (樋野公宏) ※オンライン授業

健康空間情報科学 (Health and Spatial Information Science)

【2023年度】 休講

【2024年度】 休講

学部実習

生命科学実習II (Laboratory Practice for Life Science II) (3年生・専修必修)

【2023年度】 担当: 水野佑紀・木部未帆子

6月12日 タンパク質摂取量と必要量の推定

【2024年度】

6月13日 栄養素摂取量の評価・フィールドでの質問紙調査 (木部未帆子)

質量情報からの化学物質の構造推定 (水野佑紀)

大学院講義

人類生態学特論 I (Special Lecture in Human Ecology I)

【2023 年度】

- April 7 Ecological Perspectives on Health and Disease. (Masahiro Umezaki)
- April 14 Global WASH (water, sanitation and hygiene). (Taro Yamauchi)
- April 21 Environmental Health and Human Ecology. (Shoko Konishi)
- April 28 Built Environment, Urban Design, and Public Health. (Javad Koohsari)
- May 12 Urban Health and Planetary Health. (Keiko Nakamura)
- May 19 Diet and Nutrition in Health and Disease. (Masahiro Umezaki)
- May 26 Case studies of Human Ecology. (Masahiro Umezaki, Shoko Konishi)

【2024 年度】

- April 19 Ecological Perspectives on Health and Disease. (Masahiro Umezaki)
- April 26 The Built Environment & Health Science. (Javad Koohsari)
- May 10 Urban Health and Planetary Health. (Keiko Nakamura)
- May 17 Environmental Health and Human Ecology. (Shoko Konishi)
- May 24 Global WASH (water, sanitation and hygiene). (Taro Yamauchi)
- May 31 Diet and Nutrition in Health and Disease. (Masahiro Umezaki)
- June 7 Case studies of Human Ecology. (Masahiro Umezaki, Shoko Konishi)

人類生態学特論 II (Special Lecture in Human Ecology II)

【2023 年度】

- October 11 Environmental Contaminants and Children's Health (Seiichiro Himeno)

- October 18 Role of Environmental Monitoring in the International Treaties, Stockholm Convention and Minamata Convention (Yasuyuki Shibata)
- October 25 Medical Anthropology and Global Pediatric Oncology: Lessons and Challenges (Ryoko Michinobu)
- November 1 Subsistence Ecology and Human Evolution (Takuro Furusawa)
- November 8 Human-Chimpanzee Interfaces in the West African Landscape: Evolution, Zoonoses, and Conservation (Gen Yamakoshi)
- November 16 Fertility of Immigrant Women in Japan (Yu Korekawa)
- November 22 Case Studies of Human Ecology (Yuki Mizuno, Lena Takayasu)
- 【2024 年度】**
- October 2 Environmental Contaminants and Children's Health (Seiichiro Himeno)
- October 9 Role of Environmental Monitoring in the International Treaties, Stockholm Convention and Minamata Convention (Yasuyuki Shibata)
- October 16 Subsistence Ecology and Human Evolution (Takuro Furusawa)
- October 23 Medical Anthropology and Global Pediatric Oncology: Partnering with Patients and Their Families (Ryoko Michinobu)
- October 30 Human-Chimpanzee Interfaces in the West African Landscape: Evolution, Zoonoses, and Conservation (Gen Yamakoshi)
- November 7 Fertility of Immigrant Women in Japan (Yu Korekawa)
- November 13 Case Studies of Human Ecology (Yuki Mizuno, Mihoko Kibe, Kyi Mar Wai)

特別講義 (東京大学-プリンストン大学共同研究・教育プロジェクト)

Demography Working Group (September 18, 2024)*

Venue: 217 Wallace Hall, Princeton University

Hisashi Inaba

Mathematical Modeling on Human Reproduction Through Marriage

Shoko Konishi

Measuring Fecundity and its Impact on Human fertility

*The lectures were open to faculty, students, staff, and visitors who were affiliated with Office of Population Research, Princeton University

卒業論文

【2023 年度】

竹内一輝

関東地方のフードデザート居住人口の推定とその時空間変化

佐生 航基

在留外国人の滞在年数が人口構造に及ぼす影響の分析

【2024 年度】

初田将吾

江戸時代中後期の人口変動の要因分析：宗門改帳データベースを用いた解析

修士論文

【2023 年度】

該当なし

【2024 年度】

宮下文輝

Meteorological conditions and pollen release from Japanese cedar trees: Analysis using 37-year data across Japan

気象条件とスギ花粉飛散：日本全国 37 年間のデータを用いた分析

Noack Joanna Christine

Attempted Reproduction of Papua New Guinea Low-protein Adaptation
in Germ Free Mice by Selective Transfer of Gut Microbiota

無菌マウスへの腸内細菌の選択的移植によるパプアニューギニア人の低タンパク質適応の再現

水野なみ

Impact of prenatal heavy metals exposure and early-life
neurodevelopment on gut microbiota composition at age 15: a cohort
study in Terai region, Nepal.

胎児期の重金属曝露および幼少期の神経発達が15歳時の腸内細菌組成に
与える影響：ネパール・テライ地域におけるコホート研究

徐哲浩

Association of Regional Demographic Variables with Accessibility to
Commuting Care Services for Elderly Who Require Support: A Cross-
Sectional Case Study in Aging Japan

地域の人口変数と要支援高齢者向け通所介護サービス施設へのアクセスと
の関連：高齢化する日本における横断的ケーススタディ

愛甲達也

The association between neighborhood living environment and physical
activity/function of the older people in Nagasaki, Japan

高齢者の近隣居住環境と身体活動・身体機能との関連：長崎市における研
究

森千香代

Influence of household composition on dietary and nutritional intake of
Darai people in Terai region, Nepal

世帯構成が食事・栄養摂取に及ぼす影響：ネパール低地部に居住するダ
ライを対象とした研究

那賀裕朗

Exploring associations between urinary trace element concentrations
and gut microbiome in rural Japanese communities

日本の農村・漁村地域住民における尿中微量元素濃度と腸内細菌叢の関連
の探索

博士論文

【2023 年度】

Leyso Novee Lor Cabra

Spatial inequality in accessibility to health care services in the
Philippines

フィリピンにおける医療サービスへのアクセスの空間的不平等性

【2024 年度】

該当なし

研究業績 (2023 年・2024 年)

原著論文

【2023 年】

- 今井 秀樹, 水野 佑紀, Cindy Rahman AISYAH, 増田 桃佳, 小西 祥子. (2023). 化学物質の複合曝露による健康影響の新しい評価方法とその課題. 日本衛生学雑誌 78: 22009. DOI: 10.1265/jjh.22009
- Wai KM, Swe T, Myar MT, Aisyah CR, Hninn TSS. (2023). Telomeres susceptibility to environmental arsenic exposure: Shortening or lengthening? Front Public Health. 2023 Jan 10;10:1059248. DOI: 10.3389/fpubh.2022.1059248
- Mizuno Y, Inaba Y, Masuoka H, Kibe M, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthavong N, Kounnavong S, Tomita S, & Umezaki M. (2023). Impact of modernization on oxidative stress among indigenous populations in northern Laos. American Journal of Biological Anthropology, 181:352-363. DOI: 10.1002/ajpa.24722
- Vengiau G, Marks GC, Morita A, Pulford J, Wawaga E, Parapi I, Fasi B, Umezaki M. (in press). Development and validation of the physical activity questionnaire (PNG-PAQ) that assess time spent on sedentary and moderate to vigorous physical activities: A case study in rural highland and peri-urban coastal communities in Papua New Guinea. People and Culture in Oceania.
- Leyso NL, Umezaki M. (2023). Uncovering spatial patterns and temporal trends in the ageing of the Tokyo Metropolis population. Journal of Population Ageing. DOI: 10.1007/s12062-023-09412-x
- Mizuno Y, Inaba Y, Masuoka H, Kibe M, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthavong N, Kounnavong S, Tomita S, Umezaki M. (2023). Determinants of oxidative stress among indigenous populations in Northern Laos: trace element exposures and dietary patterns. Science of the Total Environment. 868, 161516. DOI: 10.1016/j.scitotenv.2023.161516
- Kosaka S, Suda K, Gunawan B, Umezaki M. (2023). A Questionnaire Survey to Assess Motivations for Food Intake in Sundanese Communities in Indonesia, and an assessment of the applicability of the questionnaire. Japanese Journal of Health and Human Ecology, 89(6):171-183. DOI: 10.3861/kenko.89.6_171

- Uchida M, Iwamoto T, Yamasaki K, Kariya F, Konishi S. (2023). The ratio of 2nd to 4th digit length and reproductive function of infertile male patients. *Reprod Med Biol.* 22(1): e12500. DOI: 10.1002/rmb2.12500
- Ohnishi M, Nakao R, Kawasaki R, Tanaka J, Kosaka S, Umezaki M. (2023). Factors associated with failure to receive health check-ups in Nagasaki Prefecture, Japan. *Journal of Rural Medicine*, 18(1), 28-35. DOI: 10.2185/jrm.2022-046
- Fajari MF, Gunawan B, and Umezaki M. (2023) A mini-ethnography of stingless bee honey gathering in rural Sumedang, West Java: the practice and its contribution to economic and livelihood system in rural areas. *ETNOSIA: Jurnal Etnografi Indonesia*.
<https://doi.org/10.31947/etnosia.v8i2.28131>
- Pooseesod K, Umezaki M, Phetrak A and Phuanukoonnon (2023) Handwashing among caregivers of young children in a protracted and complex refugee and immigration context: A mixed methods study on the Thai-Myanmar border. *Frontiers in Public Health*, 11.
doi.org/10.3389/fpubh.2023.1099831

【2024 年】

- Liow YJ, Kamimura I, Umezaki M, Suda W, Takayasu L. (2024). Dietary fiber induces a fat preference associated with the gut microbiota. *PLoS ONE* 19(7): e0305849. DOI: 10.1371/journal.pone.0305849
- Sekiya S, Masuoka H, Mizuno Y, Kibe M, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthavong N, Kounnavong S, Tomita S, Takayasu L, Suda W, Yagyu F, Umezaki M. (2024). Asymptomatic Enteric Virus Infections and Association with the Gut Microbiome in Rural Residents of Northern Laos. *American Journal of Tropical Medicine and Hygiene*, 110(4):759-767. DOI: 10.4269/ajtmh.23-0424
- Wai KM, Swe T, Su Hninn TS, Paing AM, Naing YL, Htay ZW, Ihara K. (2024). Prenatal exposure to environmental heavy metals and newborn telomere length: A systematic review and meta-analysis. *Environmental Pollution*. 343:123192. DOI: 10.1016/j.envpol.2023.123192
- Kibe M, Mizuno Y, Masuoka H, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthavong N, Kounnavong S, Tomita S, Umezaki M. (2024). Transition to a market economy and chronic psychosocial stress in northern Laos: An exploratory study of urinary free cortisol in rural residents. *American Journal of Human Biology*, 35(8): e23976. DOI: 10.1002/ajhb.23976

- Aisyah CR, Mizuno Y, Masuda M, Iwamoto T, Yamasaki K, Uchida M, Kariya F, Higaki S, Konishi S. (2024). Association between sperm mitochondrial DNA copy number and concentrations of urinary cadmium and selenium. *Biological Trace Element Research*. DOI: 10.1007/s12011-023-03868-w
- Nakao R, Ohnishi M, Natsuhara K, Goto C, Odani S, Tadokoro K, Sueyoshi Shuji, Yagyu F, Umezaki M. (2024) Shopping behaviors and neighborhood food environment related to dietary intake among middle-aged and older people in Nagasaki City, Japan. *Japanese Journal of Health and Human Ecology*, 90: 3-15. https://doi.org/10.3861/kenko.90.1_3
- Leyso NL and Umezaki M (2024) Spatial inequality in the accessibility of healthcare services in the Philippines. *GeoJournal*. 89, 120. <https://doi.org/10.1007/s10708-024-11098-3>

単行本

【2023 年】

- 小西祥子. 「気温, 湿度, 気流, 輻射熱」 「気圧」 小山洋監修『シンプル衛生公衆衛生学 2023』南江堂, 2023 年 3 月, pp.157-160, pp.166-167.
- 梅崎昌裕. 「人間の環境」 「化学的環境要因」 「水の衛生と水質汚濁」 小山洋監修『シンプル衛生公衆衛生学 2023』南江堂, 2023 年 3 月, pp.143-152, pp.167-171, pp.187-196.

【2024 年】

- 小西祥子. 「疾病と人口」 『オセアニア文化事典』丸善出版, 2024 年 10 月.
- 小西祥子. 「気温, 湿度, 気流, 輻射熱」 「気圧」 小山洋・辻一郎監修『シンプル衛生公衆衛生学 2024』南江堂, 2024 年 3 月, pp.159-160, pp.166-167.
- 小西祥子. 「健康」 東京大学 気候と社会連携研究機構編『気候変動と社会 基礎から学ぶ地球温暖化問題』東京大学出版会, 2024 年 7 月, pp.123-126.
- 梅崎昌裕 (2024) 「腸内細菌と適応」. オセアニア文化事典編集委員会 (編) 『オセアニア文化事典』丸善出版 (編集委員).
- 梅崎昌裕. 「人間の環境」 「化学的環境要因」 「水の衛生と水質汚濁」 小山洋・辻一郎監修『シンプル衛生公衆衛生学 2024』南江堂, 2024 年 3 月, pp.145-154, pp.167-171, pp.187-171.

総説・資料・他

【2023年】

- 小西祥子. 2023. 書評. 小島宏・和田光平（編著）「人口学ライブラリー22 セクシュアリティの人口学」（原書房, 2022）人口学研究, 59:134-136.
- 小西祥子. 2023. 世界人口のゆくえ（巻頭言）. 日本健康学会誌, 89(3)61-62.
- 梅崎昌裕（2023）世界の食文化⑧サツマイモ. 医学のあゆみ 287: 865-867.
- 梅崎昌裕（2023）人口と環境問題の関係：人類誌をふまえた理解. 月刊統計 2023年9月号：28-35.

【2024年】

- 小西祥子. 2024. 研究紹介：なぜ子どもが減るのか？ Ouroboros 東京大学総合研究博物館ニュース, 28(3)14-15.
- 小西祥子. 2024. 人類生態学のプロ. 生態人類学会ニュースレター（特集 大塚柳太郎氏追悼）, 29 別冊:13.
- 梅崎昌裕. 2024. 大塚さんの研究. 生態人類学会ニュースレター（特集 大塚柳太郎氏追悼）, 29 別冊:13.
- 梅崎昌裕（2024）「科学」の研究（巻頭言）. 日本健康学会誌 90: 1-2.

学会発表

【2023年】

- Li Z, Saitoh M, Kibe M, Mizuno Y, Masuoka H, Kosaka S, Natsuhara K, Hirayama K, Inthavong N, Kounnavong S, Yoneda M, Tomita S, Umezaki M. Subsistence Transition and Dietary Shifts Revealed by Hair Carbon and Nitrogen Isotope Ratios of Indigenous Populations in Northern Laos. The XXVth International Conference of the Society for Human Ecology, November 5-8, 2023, Tucson, USA.
- Sae Sekiya, Hiroaki Masuoka, Taku Miyazaki, Yuki Mizuno, Mihoko Kibe, Satoko Kosaka, Kazumi Natsuhara, Kazuhiro Hirayama, Nouhak Inthavong, Sengchanh Kounnavong, Lena Takayasu, Wataru Suda, Shinsuke Tomita, and Masahiro Umezaki. Exploration of Gut Microbial Detoxification of Phytochemicals in Rural Residents of Northern Laos. The XXV International Conference of the Society for Human Ecology, November 5-8, 2023, Tucson, USA.
- Yuki Mizuno and Chirag J Patel. An Exposure-Wide Association Study on Erectile Dysfunction. The 35th Annual Meeting of International Society for

Environmental Epidemiology (ISEE2023), September 17–21, 2023, Kaoshiung, Taiwan.

- 小西祥子, 玉置えみ. 不妊治療および性交頻度と出生力. 日本人口学会第 75 回大会, 2023 年 6 月 10-11 日, 名古屋.
- 水野佑紀, シンディ・ラーマン・アイシャー, 増田桃佳, 岩本晃明, 山崎一恭, 内田将央, 猪鼻達仁, 仮屋ふみ子, 小西祥子. フタル酸エステル類曝露と男性性機能との関連. 第 2 回環境化学物質 3 学会合同大会, 2023 年 5 月 30 日–6 月 2 日, 徳島.
- Aghnia Husnayiani Suryanto, Jun Yoshinaga, Hideki Imai, Yukiko Nishihama, Shoko Konishi. Thyroid function and menstrual cycle characteristics in Japanese women aged 19-21 years old, 第 93 回日本衛生学会学術総会, 2023 年 3 月 2-4 日, 東京.
- 梅崎昌裕. パプアニューギニア高地人の低タンパク質適応. 日本運動生理学会, 2023 年 8 月 23-24 日, 筑波 (シンポジウム).
- 小西祥子, 水野佑紀, 吉永淳, 山崎一恭, 内田将央, 仮屋ふみ子, 岩本晃明. イソフラボン類は男性の生殖機能を低下させるか? 第 88 回日本健康学会総会, 2023 年 12 月 1 日, 弘前.
- Konishi S, Akagawa M, Moriki Y. Less sex, fewer children: Associations of coital frequency and socioeconomic status with fertility among married men in Japan, Research on East Asian Demography and Inequality (READI) conference, 2023 年 7 月 15 日, 東京.

【2024 年】

- 宮下丈輝, Chris Fook Sheng NG, 小西祥子. 各月の気象条件とスギ花粉飛散数、飛散開始日の関連. 第 65 回日本花粉学会大会, 2024 年 11 月 8-10 日, 東京.
- Masuda M, Goto C, Imai H, Ohnishi M, Umezaki M; Associations of the Dietary Inflammatory Index with Disability and Subjective Health among Older Adults in Japan; Oral presentation at The 55th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH) Conference 2024, Oct 23-25, 2024, Busan, South Korea.
- Cindy Rahman Aisyah and Shoko Konishi. Number of Children and Mortality Risk in the Indonesian Population; Poster presentation at The 55th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH) Conference 2024, Oct 23-25, 2024, Busan, South Korea.
- Zhengjie Cai, Yuju Wu, Huan Zhou. Gender differences in latent profiles of lifestyle behaviours and their associations with cardiometabolic risk among community-dwelling Chinese adults; Oral presentation at The 55th Asia-

- Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH) Conference 2024, Oct 23-25, 2024, Busan, South Korea.
- Wai KM, Umezaki M, Yang Y, Itoh K, Ihara K; Understanding Successful Biological Aging in Japanese Community; Oral presentation at The 55th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health (APACPH) Conference 2024, Oct 23-25, 2024, Busan, South Korea.
 - Maricor Carmela Amoguis Ieiri, Masahiro Umezaki. Household Food Insecurity and the Nutritional Status of Adolescents and Their Caregivers in San Remegio, Cebu, Philippines. 第 89 回日本健康学会総会, 2024 年 10 月 12-13 日, 東京.
 - Zhehao XU, Masahiro UMEZAKI. Association of Demographic Variables with Accessibility to Commuting Care Services for Elderly Who Require Support, 第 89 回日本健康学会総会, 2024 年 10 月 12-13 日, 東京.
 - Zhengjie Cai, Chiho Goto, Hideki Imai, Mayumi Ohnishi, Masahiro Umezaki. Food Choice Motivations and Nutrient Intake Among Middle-Aged and Older Adults in Nagasaki and Ishikawa Prefecture, Japan 第 89 回日本健康学会総会, 2024 年 10 月 12-13 日, 東京.
 - 関家 紗愛, 増田 桃佳, 水野 佑紀, 後藤 千穂, 梅崎 昌裕. 日本の農村漁村部における腸内細菌叢の個人間変動: 栄養素摂取パターンとの関連. 第 89 回日本健康学会総会, 2024 年 10 月 12-13 日, 東京.
 - 梅崎昌裕. これからの人類社会における健康のありかた (大会長あいさつ) . 第 89 回日本健康学会総会, 2024 年 10 月 12-13 日, 東京.
 - 水野 佑紀, 米山 美幸, 久田 文, 吉永 淳, 梅崎 昌裕, 中島 大介. 甲状腺機能と血清中化合物の探索的関連解析. 第 3 回環境化学物質合同大会, 2024 年 7 月 2-5 日, 広島. (口頭+ポスター)
 - 木部未帆子. ラオス北部農村におけるサトウキビ契約栽培導入前後の食事・身体活動パターン比較. 生態人類学会第 29 回研究大会, 2024 年 3 月 27-28 日, 福井.
 - 愛甲達也, 増田桃佳, 後藤千穂, 今井秀樹, 大西眞由美, 梅崎 昌裕. 地方に居住する中高年者の食事性炎症指数は空間 クラスタを形成するか. 第 94 回日本衛生学会学術総会, 2024 年 3 月 7-9 日, 鹿児島.
 - 那賀裕朗, 水野佑紀, 増田桃佳, 今井秀樹, 梅崎昌裕. 日本の農村漁村地域住民の尿中 Cd 濃度とその関連要因の探索. 第 94 回日本衛生学会学術総会, 2024 年 3 月 7-9 日, 鹿児島.
 - Cindy Rahman Aisyah, 小西祥子. インドネシア人における配偶関係と死亡率の関連. 第 94 回日本衛生学会学術総会, 2024 年 3 月 7-9 日, 鹿児島.
 - Wai KM, Takehiro S, Cindy RA, Ihara K, Umezaki M. Epigenetic Modification, LINE-1 Methylation at Birth, and its effect on Heavy Metals-

induced Telomere Shortening in Newborns. 第 94 回日本衛生学会学術総会, 2024 年 3 月 7-9 日, 鹿児島. (ポスター)

- 小西祥子, 仮屋ふみ子. 日本の夫婦における結婚から第一子出生までの期間. 第 94 回日本衛生学会学術総会, 2024 年 3 月 7-9 日, 鹿児島.
- 水野佑紀, Chirag J. Patel. 環境化学物質曝露と男性性機能のエクスポソームワイド関連解析. 第 94 回日本衛生学会学術総会, 2024 年 3 月 7-9 日, 鹿児島.
- 梅崎昌裕. 食と健康の未来. 日本人口学会第 76 回大会, 2024 年 6 月 8-9 日, 東京.
- 小西祥子. 産み育ての未来. 日本人口学会第 76 回大会, 2024 年 6 月 9 日, 八王子.
- 小西祥子. 妊孕力の変化が出生力に及ぼす影響. 日本人口学会第 76 回大会, 2024 年 6 月 9 日, 八王子.

受賞

【2023 年】

該当なし

【2024 年】

- 第 32 回環境化学討論会 Presentation Prize (水野佑紀)
水野 佑紀, 米山 美幸, 久田 文, 吉永 淳, 梅崎 昌裕, 中島 大介. 甲状腺機能と血清中化合物の探索的関連解析. 第 3 回環境化学物質合同大会 (第 32 回環境化学討論会), 2024 年 7 月 2-5 日, 広島.

競争的資金の獲得

【2023 年度から 2024 年度に新たに獲得したもの】

- 2023-2024 年度. 科学研究費補助金・挑戦的研究 (萌芽). 研究課題番号: 23K17525 「開発の功罪：ラオス北部の少数民族地域におけるサトウキビ契約栽培のインパクト評価」 (代表者: 梅崎昌裕)
- 2023-2024 年度. 寄付金・デジタル空間社会連携研究機構. 「『困難な』居住環境に高齢者が居住することの問題」 (代表者: 梅崎昌裕)
- 2023 年度. 東京大学空間情報科学研究センター共同研究研究費. 「島原半島において観察された食事性炎症指数の空間集積性の背景」 (代表者: 梅崎昌裕)
- 2024-2027 年度. 科学研究費補助金・基盤研究(A). 研究課題番号: 24H00575 「腸内細菌叢によるヒトの栄養修飾機構の解明」 (代表者: 梅崎昌裕)

- 2019-2023 年度. 科学研究費補助金・新学術領域研究(研究領域提案型) 研究課題番号: 23K17525 「民族誌調査に基づくニッチ構築メカニズムの解明」(代表者: 大西秀之; 分担者: 梅崎昌裕)
- 2024-2029 年度. 日本医療研究開発機構(AMED)/国際協力機構(JICA)・地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS). 「ワンヘルス・教育・官民連携による顧みられない人獣共通感染症介入の共同デザインに関する研究開発」(代表者: 蒔田浩平; 分担者: 梅崎昌裕)
- 2023-2026 年度. 科学研究費補助金・若手研究. 研究課題番号: 23K17044 「ノンターゲット分析を用いた化学物質複合曝露による健康影響評価手法」(代表者: 水野佑紀)
- 2024-2026 年度. 寄付金・三菱財団・自然科学研究助成. 「出生前環境がテロメア長および小児の健康に及ぼす影響: 出生コホート研究」(代表者: Kyi Mar Wai)
- 2023-2025 年度. 科学研究費補助金・若手研究. 研究課題番号: 23K16301 「Identification of Positive Deviant Characteristics in Mitigating Biological Aging: Telomere Length as a Biomarker of Biological Aging」(代表者: Kyi Mar Wai)
- 2024 年度. 寄付金・ヒロセ財団・研究助成. 「新生児における出生前環境、エピジェネティック修飾およびテロメア長: ミャンマーにおける出生コホート研究」(代表者: Kyi Mar Wai)
- 2023-2024 年度. 科学研究費補助金・特別研究員奨励費. 研究課題番号: 23KJ0457 「日本人の伝統的な食事構成の西洋化が腸脳相関を介して快楽性の食嗜好に与える影響」(代表者: Liow Yi Jia)
- 2023-2025 年度. 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)「グリーントランスフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成」プロジェクト(SPRING GX)(張主人)
- 2023-2025 年度. 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)・次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)「グリーントランスフォーメーション(GX)を先導する高度人材育成」プロジェクト(SPRING GX)(李子陽)

教室員一覧 (2023 年度・2024 年度)

名誉教授

鈴木 継美 (2008 年 5 月ご逝去)
大塚 柳太郎 (2022 年 12 月ご逝去)
渡辺 知保

教授

梅崎 昌裕

准教授

小西 祥子

助教

水野 佑紀 (~2024 年 2 月、3 月~コロンビア大学・研究員)
木部 未帆子 (2023 年 4 月~)
Kyi Mar Wai (2023 年 11 月~)

サポートスタッフ

阿部 純子 (2023 年 4 月~)
仮屋 ふみ子

博士課程大学院生

Maricor Carmela Amoguis leiri
関家 紗愛 (2022 年 4 月~)
Liow Yi Jia (廖 翊嘉, Claire) (同上)
Cindy Rahman Aisyah (2022 年 4 月~2025 年 3 月)
Novee Lor Cabra Leyso (2022 年 4 月~2024 年 3 月)
増田 桃佳 (2023 年 4 月~2025 年 3 月)
Li, Ziyang (李 子陽) (2023 年 4 月~)
Zhang, Zhuren (張 主人) (同上)

修士課程大学院生

Joanna Noack (2022 年 4 月~2025 年 3 月)
愛甲 達也 (2023 年 4 月~2025 年 3 月)
那賀 裕朗 (同上)
水野 なみ (同上)
宮下 丈輝 (同上)

| | |
|---------------------|---------------|
| 森 千香代 | (同上) |
| 徐 哲浩 | (同上) |
| Hannah Marie Callas | (2023 年 4 月～) |
| Muhammad Fahmi Aziz | (2024 年 4 月～) |
| 佐生 航基 | (同上) |
| 澤部 佑実 | (同上) |

学部学生 (卒業論文)

| | |
|-------|-------------------------|
| 佐生 航基 | (2023 年 4 月～2024 年 3 月) |
| 竹内 一輝 | (同上) |
| 初田 将吾 | (2023 年 4 月～2025 年 3 月) |

特別研究学生

| | |
|--------------|--------------------------|
| Cai Zhengije | (2024 年 1 月～2024 年 12 月) |
|--------------|--------------------------|

客員研究員

| | |
|-------------|-------------------------|
| 須田 一弘 | |
| 野林 厚志 | |
| 夏原 和美 | |
| 富田 晋介 | |
| 田所 聖志 | |
| 森木 美恵 | |
| 須田 互 | |
| Kyi Mar Wai | (～2023 年 10 月) |
| 大西 真由美 | |
| 中尾 理恵子 | |
| 増岡 弘晃 | (2021 年 4 月～) |
| 今井 秀樹 | |
| 高安 伶奈 | (2023 年 4 月～2024 年 3 月) |

非常勤講師

| |
|-------|
| 卯田 宗平 |
| 齧島 旭 |
| 後藤 あや |
| 大久保 悟 |
| 大木 紫 |
| 本田 匡人 |
| 荒川 豊 |

Mohammad Javad Koohsari

山内 太郎

中村 桂子

柴田 康行

是川 夕

道信 良子

姫野 誠一郎

古澤 拓郎